



いよいよ年末の大掃除シーズン 見落としがちな車のお掃除と合わせて 自分でできる簡単メンテナンスで快適で安全な新年を

- ▶ 大掃除で見落としがちな車のお掃除
- ▶ ボディーの掃除と合わせてワイパー交換し、安全な視界を確保
- ▶ 車内の掃除とエアコンフィルター交換で車内の空気もリフレッシュ

いよいよ年末が近づき、気持ちよく新たな年を迎えるための大掃除シーズンが到来します。家のお掃除はもちろんですが、見落としがちなのは車のお掃除。帰省や冬のレジャーなど、家族や友人等と車を利用する機会の増える年末・年始に備えて、車のボディーだけでなく、車内も気持ちよくお掃除をしてみたいはいかがでしょうか。ドイツの車部品メーカーのポッシュが、ボディーと車内の効果的なお掃除について、さらにエアコンフィルターやワイパーの交換など簡単にできるDIYメンテナンス方法をご紹介します。

■ボディーの掃除とワイパー交換

1. ボディーの洗浄

クリーニングをしていなかった期間の長さにもよりますが、まずは、ガソリンスタンドなどの洗車を活用して全体の汚れを落とします。気温も低くなっていくので、屋外で大量の水を扱うボディーのクリーニングは、洗車設備を活用するのが効率的です。

2. ワックスをかける

カー用品店で様々な種類が販売されていますが、ピカピカのボディーで新年を迎えるためにもひと手間をかけると、水や汚れをはじくため、その後の掃除も簡単になります。ボディー洗浄の水分がしっかり乾いてから行ってください。

3. ワイパー交換

冬は年間で一番車両事故が起こりやすい季節^{※1}ですが、その要因の一つに「視界不良」があります。冬は、日照時間が短くなるため、暗く視界の悪い状況で運転する機会が必然的に増えます。そのため、今の季節こそクリアな視界を確保するためのケアをする必要があります。フロントウィンドウをクリアに保つためのワイパーは、1年間に東京ドーム7個分の面積を拭いているといわれており^{※2}、常に寒暖差、紫外線にさらされているため年1回の交換が推奨されています。ポッシュが国産車用に展開した「エアロツイン J-フィット(+）」は90%以上^{※3}の国産車に対応しており、ポッシュのフラットワイパー研究の集大成としてのこだわり、**クリアな視界、長持ち、オールシーズン対応可能^{※4}、作動音の低減**を迫及したワイパーです。フラットワイパーは欧州車では90%^{※5}の車に新車搭載されており、外観もシンプルでスマート。交換方法もとても簡単で慣れない方でも容易に交換できます。(P3 交換方法参照)

■車内の掃除とエアコンフィルター交換

1. シートのホコリを叩いて浮かせる

シートには細かいホコリや花粉などが付着しています。それらを一度浮かせるためにシート全体を叩きます。車のドアをすべて開けて、マスクをして行ってください。

2. フロアー、シート、ダッシュボードの掃除

空気中に浮かせたホコリなどが下に落ちるのを待ってから、フロアマットを外に出してよくはたきます。更にフロアマットをブラシなどで水洗いするとより清潔です。次に掃除機でフロアーやシートに落ちたホコリやゴミを吸い取ります。シートの隙間など隙間用ノズルで特に念入りに吸い取ります。また、ダッシュボード付近は静電気でホコリが集まりやすいので、スイッチの凹凸など隅々までかたく絞った雑巾で、きれいに拭きます。

3. エアコンフィルター交換

キレイになった車内に入ってくる空気をしっかりフィルターするために、エアコンフィルターの交換がおすすめです。交換方法も非常に簡単で、不慣れな方でもすぐに交換できます（P3 交換方法参照）。車内掃除後にエアコンフィルターを交換して内気循環モードにすることで、「ボッシュ・エアリストプレミアム（抗ウィルスタイプ）」は通常機能の花粉・ほこりの94～99%以上^{※6}除去に加え、植物由来の天然ポリフェノールでウイルスやアレル物質を抑制します。

※1 東京海上日動火災保険「安全運転ほっとNEWS」2017年12月号による。

※2 日本ワイパーブレード連合会(JWF)による。

※3 年式 1999-2017 の車種対象。2014-2016 年の軽自動車を除く。

※4 降雪状況や気候状況に応じて、適切な冬用ワイパーの使用を推奨します。

※5 ボッシュ調べ 2018 年現在。

※6 当社調べ。現在使用されているフィルター性能にもよります。

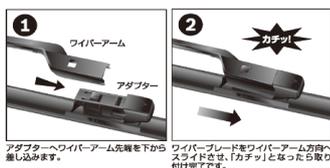
■ 一般的な交換方法：ワイパー



Uフックアームタイプ 取り付け方



トップロックアームタイプ 取り付け方



■ 一般的な交換方法：エアコンフィルター

収納ケース(グローブボックス)の奥にある場合 (動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=pWFhpWW73-l&feature=youtu.be>

収納ケース(グローブボックス)を取り外す場合 (画像)

※車種によって交換の手順や所要時間は異なります。
以下の例はトヨタ ウィッシュ「NE1」系の場合です。



1 クルマに合った
フィルターを用意



2 グローブボックスの
取り外し



3 「ボッシュ エアコン
フィルターの取り付け

■ 製品情報

製品名: ボッシュ エアロツイン J-フィット(+)

価格: オープン価格

取り扱い店舗: イエローハット全店*、オートバックス全店、
ジェームス全店*(50音順) *地域により異なります。

取り扱い整備工場: ボッシュカーサービス全店



製品名: ボッシュ国産車用エアコンフィルター アエリスト
(抗ウィルスタイプ)

価格: オープン価格

取り扱い店舗: イエローハット全店*、オートバックス全店、
ジェームス全店*(50音順) *地域により異なります。

取り扱い整備工場: ボッシュカーサービス全店



お問い合わせ:

クレジット表記および製品に関するお問い合わせ先:

ボッシュ(株)オートモーティブ アフターマーケット事業部

広報担当: 増田 かおり

TEL:(03)5485-6145 / 070-2650-7536

URL: <http://jp.bosch-automotive.com/ja/>

本リリースおよび撮影用製品・画像データ等のお問合せ先

(株)プラップジャパン 担当: 高柳、小阪

TEL:(03)4580-9103

E-mail: bosch_pr@ml.prap.co.jp

ボッシュ オートモーティブ アフターマーケット事業部

オートモーティブ アフターマーケット事業部(AA)では、乗用車及び商用車向けに、幅広い車両診断・修理機器ラインナップおよび修理工場向けの新品またはリビルト補修パーツをアフターマーケット市場とボッシュのサービスショップを通して世界に展開しています。

ボッシュはOEM製品の補修部品をはじめ、ボッシュがアフターマーケット用のアクセサリおよび補修サービスパーツを開発、製造し、世界150カ国に18,000人以上の従業員とグローバルなロジスティックネットワークを有し、650,000点に及ぶ異なった補修パーツをお客様へより早く確実にお届けしています。そして車両診断機器事業として、オートモーティブアフターマーケット事業部では、車両診断及び修理技術、診断機器用ソフトウェア、サービストレーニングと各種情報を提供しており、さらに当事業部では、世界最大級となる独立系修理工場ネットワークであるボッシュカーサービスを17,000店舗世界に展開し、同時に1,000店舗以上の「Auto Crew」をパートナーの修理工場ネットワークとして展開しております。

さらに詳しい情報は www.bosch-automotive-aftermarket.com を参照してください。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017年の従業員数は約40万500人(2017年12月31日現在)、暫定決算報告での売上高は780億ユーロ(約9.9兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社450社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界125の拠点で約6万2,500人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

*2017年の為替平均レート:1ユーロ=126.71118円

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp ボッシュ・ジャパン公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン公式YouTube (日本語)